

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年01月27日

計画の名称	みどりの環境調和都市に資する市立都市公園の整備												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	八王子市												
計画の目標	<p>八王子市の市街地ではみどりが減少している状況にあり、人と自然が触れ合える空間の消失、野生生物の生息空間の減少、防災機能の低下、都市景観の無機質化などを招いていることから、良質な都市公園の整備と利用促進の重要性は以前にも増して高まっている状況にある。このような中、八王子市では、みどりの基本計画（平成22年3月策定）において、自然とまちと人を結ぶ「みどりの環境調和都市」を将来像とし、公園施設の量的充足を目的とした用地確保、自然緑地の保全と高質な営巣緑地の形成に取り組み、幅広く利用される緑地として利便性向上及び利用促進を図るとともに、老朽施設の維持管理・更新及び既存施設の長寿命化などを通じて安全性の向上に取り組んでいるところである。</p> <p>その中でも市中心部に位置する富士森公園は、約11.6haの広大な敷地に陸上競技場や野球場、テニスコート及びフットサルコートといった運動施設を擁する運動公園であり、春の花見や夏の花火大会など、各種イベントでにぎわう、市を代表する市民の憩いの場となっているが、昨今の市民の環境意識の高まりや少子高齢化に伴う利用者ニーズの変化、防災意識の向上などを背景に、より高質な緑化の推進と利用促進、既存施設の更新に伴うバリアフリー対応及び防災機能の更なる充実が求められている状況にある。（入力制限により以下省略）</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,825	A	1,473	B	0	C	352	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	19.28	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26	H28	H30
1	一人当たり市立都市公園の面積を、H26当初9.67㎡からH30末までに10.0㎡に向上 市内市立都市公園の一人あたり面積を測定する。	9㎡	9㎡	10㎡
2	公園アドプト制度参加人数を、H26当初19,738人からH30末までに21,000人に増加 公園アドプト制度参加人数を計数する。	19738人	20000人	21000人
3	都市公園等の利用促進と市民の緑化意識向上のため、市制100周年となる平成29年度に「全国都市緑化はちおうじフェア」を開催し、メイン会場となる富士森公園で開催期間中25万人の集客を図る。 「全国都市緑化はちおうじフェア」のメイン会場となる富士森公園で開催期間中の来場者数を計数する。	0人	0人	250000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	八王子市	直接	八王子市	-	-	都市公園等事業(富士森公園)	用地買収、公園施設整備	八王子市						957		-	
	A12-002	公園	一般	八王子市	直接	八王子市	-	-	八王子市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画(209公園)、安全安心対策(バリアフリー化等)、長寿命化対策	八王子市						516		策定済	
											小計						1,473			
											合計							1,473		

C 効果促進事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																			
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	八王子市	直接	八王子市	-	-	都市緑化普及啓発事業	全国都市緑化八王子フェアの開催を含めた都市緑化に関する普及啓発	八王子市						352		-		
都市緑化に関する知識の普及及び民間の緑化施設の整備等を目的としたワークショップ等の市民協働事業を基幹事業と一体的に実施し、緑豊かな潤いのある街づくりに寄与する。																					
											小計							352			
											合計								352		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備の事後評価として、八王子市まちなみ整備部公園課で実施。	令和元年度
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	富士森公園における、用地買収、施設整備により、一人当たりの都市公園面積が増加し、公園利用者の利便性の向上が図られた。また、「全国都市緑化はちおうじフェア」の開催により、多くの利用者に来場いただき、公園への愛護心や緑化意識向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	「八王子市公園施設長寿命化計画」を209公園を対象に策定し、遊具の計画的更新を行った。本計画の期間中には、延べ53公園57基の更新を行い、公園利用者が安全で、快適に利用できる環境を整備した。
特記事項（今後の方針等）	
今後も、公園の整備や老朽化した遊具の更新等を行い、公園利用者の安全性や利便性の向上を図るとともに、公園アドプト制度など、市民参加による公園づくり等を通じて公園への愛護心と緑化意識の向上を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標（市内市立都市公園の一人当たりの面積 m <sup>2</sup> ）		
	最終目標値	10m <sup>2</sup>	富士森公園の用地買収及び施設整備を行うなど、都市公園用地の取得及び施設整備を行ったことにより、一人当たりの市管理都市公園面積は増加し、目標数値を上回った（10.04m <sup>2</sup> /人）。
	最終実績値	10m <sup>2</sup>	
2	指標（公園アドプトの参加人数 人）		
	最終目標値	21000人	公園の整備や緑化フェアの開催等により、公園利用者の安全性及び利便性の向上や、公園への愛護心や緑化意識の向上を図り、公園アドプト制度への参加を促した。登録者の高齢化等により活動を辞退する団体もあったが、アドプトへの新規加入団体も多く、参加人数はほぼ横ばい状態となり、目標数値には届かなかった。今後は、様々な機会を通じて新規加入を促していく。
	最終実績値	19315人	
3	指標（「全国都市緑化はちおうじフェア」のメイン会場となる富士森公園の開催期間中の来場者数 人）		
	最終目標値	250000人	平成29年度に開催した「全国都市緑化はちおうじフェア」が好評であり、メイン会場である富士森公園の来場者は、285,665人と目標を大きく上回った。サテライト会場を含めると、70万人を超える来場者があった。
	最終実績値	285665人	